

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
風船で描こう、ボールで描こう	小	グループ学習 低学年れんげ (図画工作)	山本穂香 福西朝美 重永将志 村江憲江 高下真央

<ねらい>

いろいろな道具を使って描くことを楽しもう。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

「風船で描こう」

- (1) 絵本「いろいろばあ」（作 新井洋平、出版社 えほんの杜）の読み聞かせを見聞きする。
- (2) 空気入れを使ってみんなで風船を膨らます。
- (3) 教室の庭で風船に絵の具を付けたり、色水が入った風船を転がしたりして色を付ける。

「ボールで描こう」

- (1) 上に同じ
- (2) ボーリング台の上に絵の具の付いたキャンディボールを乗せ、指し棒を使って「3・2・1」の合図で転がす。
- (3) 障子紙の貼られた棒付きの段ボールの上で絵の具の付いた鈴入りのボールを転がす。（友達や教師と向かい合って棒を持つ）

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

「風船で描こう」

普通の風船だけでなく子どもたちが好きな水風船も使ったので興味をひくことができた。だけど、水風船はなかなか割れなかったので真ん中にブロックを置いてそれに向かって投げると割ることができた。また、教室の庭でおこなったので天気には左右されるが、開放的でよかった。

「ボールで描こう」

(3) 鈴が鳴るボールだったので、色が付いていく様子を視覚的だけでなく聴覚的にも楽しむことができた。また、穴を開けているので穴をねらって転がすなど遊びながら取り組むことができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

「風船で描こう」

障子紙、台紙、風船、空気入れ、絵の具

「ボールで描こう」

- (1) 障子紙、キャンディボール、指し棒、絵の具、ボーリング台、ブルーシート
- (2) 障子紙、鈴入りボール、棒付き段ボール、絵の具、ブルーシート

